

《民間不登校教育機関の現場からの提案》

「不登校生活」からの脱し方

少子化が加速する中で、不登校生徒数の大きな減少は見られない。
NPOとフリースクールの代表それぞれが不登校生徒への学校復帰・社会復帰の仕方を提言。

第9回テーマ

不登校、夏休み明けの対応について

◆第Ⅰ部 《民間不登校教育期間の現場の事例から》

フリースクールだいたの事例から

代表 石川昌征

ミヤギユースセンターの事例から

代表 土佐昭一郎

◆第Ⅱ部 《シンポジウム》

参加者の皆さんの質問に本音でお答えします。

◆第Ⅲ部 《個別教育相談会》

パネリストが個別相談に応じます。

日時：平成22年9月11日(土) 午前9時30分～12時

参加費：無料

会場：みやぎNPOプラザ (仙台市宮城野区榴岡5 榴岡公園前)

JR仙石線 榴岡駅徒歩8分/無料駐車場有り

定員：40名(予約優先、当日参加可能)

《お問い合わせ&申込み先》

・フリースクールだいと

TEL：022-249-4023

仙台市太白区郡山6-2-2

・ミヤギユースセンター

仙台市宮城野区榴岡2-2-8-203

TEL：022-256-7977

【パネリスト紹介】

土佐昭一郎（とさ しょういちろう）

不登校児童・生徒及び高校中退者への自立支援を目的に、学習と進路・進学指導を中心としたNPOを設立。現在ミヤギユースセンター代表。

中・高等学校教員免許、教育カウンセラー、LD学会会員

主な講演

東北学院大学教養学部教育フォーラム

「若者とのコミュニケーションを上手に」

宮城県青少年行政連絡会議専門部会

「高校中退者と不登校の少年等の実態について」

★NPO法人ミヤギユースセンター

高校中退者や不登校生の自立への進路支援として高卒認定試験、通信制高校サポート校など学習面を中心に支援。自信回復をして社会復帰を目指す。家庭への支援にも重点を置き活動。県内ではNPOとして支援活動を始めた先駆的存在。

石川 昌征（いしかわ まさゆき）

県立、私立高校教諭を経て学校らしくない学校を目指しフリースクールを開設。現在フリースクールだいと代表。

小・中・高等学校一種教員、免許、教育カウンセラー、LD学会会員

主な講演

仙台市市議会子育て健全育成調査特別委員会

「成長期の教育について」

酒田市教育委員会

「不登校生へ向けた支援について」

★フリースクールだいと

学校らしくない学校を目指す通信制高校サポート校、不登校小中学生に対して学習とアルバイト・ボランティアを組み合わせた支援で、「生き抜く力」を身に付けて社会復帰を目指す。民間児童クラブを設立し、子育て支援にも重点をおいている。

今後の開催予定

| | | |
|------|-----------------|---|
| 第1回 | 2009年2月21日（終了） | 1. 宮城県の不登校の現状と学習支援の効用 2. 不登校段階に応じた支援の在り方 |
| 第2回 | 2009年4月5日（終了） | 1. 不登校、高校中退者への学校復帰と進路の支援 2. 不登校中高生に対する効果的な教育環境 |
| 第3回 | 2009年6月13日（終了） | 不登校サインの見極め方 |
| 第4回 | 2009年8月29日（終了） | 不登校の早期対応について |
| 第5回 | 2009年10月17日（終了） | 高校中退への対応及び高校転編入について |
| 第6回 | 2009年12月5日（終了） | 不登校児童・生徒と家族の支援について |
| 第7回 | 2010年3月7日（終了） | 通信制高校の仕組みとサポート校の役割について |
| 第8回 | 2010年5月15日（終了） | 経験者と支援者から聞く 「不登校を脱したきっかけは・・・？」 |
| 第9回 | 2010年9月11日 | 9月5日気仙沼市でも開催（同じ内容） |
| 第10回 | 2010年11月未定 | |
| 第11回 | 2011年1月未定 | |